



“ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業”の

陶芸家と窯屋を結び超アナログ情報誌

2009・5月号

# 月刊 窯ナビ

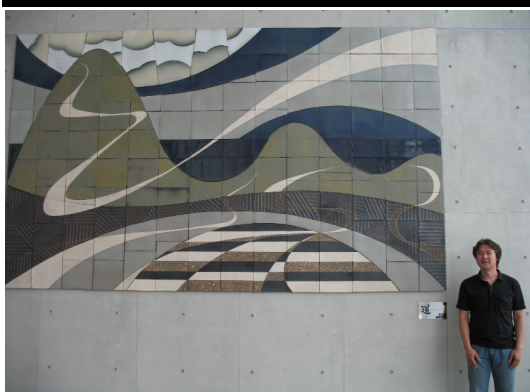
必ず良いことがある人のために送る！  
DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

ウラ面も情報満載

【発行日】2009年5月30日 【発行人】(株)大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444 【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

「今からはじめる陶芸入門」を出版 陶芸家 柳橋進・修二兄弟



県立笠間高等学校美術棟の陶壁「道」(2008年作)



【柳橋進】写真右

1962年 東京生まれ  
1980年 日本大学芸術学部で美術を学ぶ  
1993年 朝日陶芸展初入選、以後も入選  
県からの依頼で陶壁の制作を多数手がける。  
現在、筑波学園都市にて陶芸教室を開きアマチュア指導  
もしながら、個展での作品を中心に活動している。

【柳橋修二】写真左

1964年 茨城県笠間市生まれ  
1986年 京都府立陶工技術専門学校で美術を学ぶ  
1995年 第35回伝統工芸新作展入選  
1997年 京都・法然院にて作品を献上  
2008年 県からの依頼で陶壁の制作を手がける。個展発表  
表を中心に、さらにグループ展、企画展にも参加し、作品  
を展示する。最近では筑波にて、「名窯の美、陶芸作家  
展」で全国の名窯(人間国宝)の方々と同展した。  
(文・写真 いまからはじめる陶芸入門 より)

谷口: 幼いころはどんなお子さんでしたか？

柳橋(修): とにかくやんちゃな子でした。

谷口: 今のお仕事につながっていることはありますか？

柳橋(修): 兄も私も図画工作が得意でした。

谷口: やきもの制作でなにかこだわっていることはありますか？

柳橋(修): 兄は手びねり、私はロクロを中心に制作しています。手びねりに比べるとロクロは表現に制約があるので、特に曲線美には注意しています。加飾は2,3度本焼きをして作品に深みが出るように工夫しています。

谷口: この仕事について印象に残る出来事はありますか？

柳橋(修): 今年3月に陶芸の本を出したことです。制作に半年かかりました。

谷口: きっかけは何だったんですか？

柳橋(修): 知り合いの紹介です。NHK出版から突然の依頼でした。

初めての経験でしたがとても勉強になりました。

谷口: 反応はどうですか？

柳橋(修): 今までのお客さんがとても喜んでくれています。

「母校の新校舎に陶壁を制作」

谷口: 笠間高校美術棟に陶壁を制作されたとお聞きしましたが？

柳橋(修): 笠間高校のOBなのでそのお話をいただき嬉しかったです。気が入りましたね。制作時期が夏だったので乾燥には苦労しましたね。

谷口: 陶壁のテーマは？

柳橋(修): テーマは「道」です。若者がこれから歩いてゆく道です。山在り谷在りかもしれませんが、一步一步希望をもって歩いてほしい、という気持ちで作りました。

これがきっかけで陶芸科の非常勤講師として指導も行っています。

高校生と接することで初心に帰れますし、良い刺激にもなりますね。

谷口: 将来の希望は？

柳橋(修): やきもの業界にもっと活気が出て明るくなってほしいですね。そのためにも前向きな気持ちでよい作品作りを心掛けたいと思います。

谷口: 最後に、ガス窯の印象を教えてください。

柳橋(修): とても焚きやすい窯ですね。20年使っていますがまだまだ使えそうです。

去年、パーナーのクリーニングをしたんですが、燃費がとてもよくなりました。還元のかかりも良くなりました。



今からはじめる陶芸入門

カラー写真(約8割)を中心にお二人の作品作りが詳しく記されています。この一冊で手びねりとろくろ両方知ることができるのが魅力と言えます。成形後の乾燥と素焼、釉掛け、本焼きのポイントにも言及。陶芸の魅力である「つくる・使う・飾る」楽しみをまずこの一冊から。

ご購入は全国の書店・アマゾンなどで NHK出版 ¥1,575

うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

「陶芸は遠いものではなく、生きていくうえで、とても身近なものであると同時に、誰もがはじめられる趣味の一つだと言えることです」とお二人は言っています。陶芸を通じて社会貢献をすることが一つの目的でもあるように感じます。それは大げさなことではなく、自分が作った「一つのやきもの」で人々に喜びを感じてもらうことで充分なのです。陶芸は「つくる喜び、使う喜び、飾る喜び」というようにいろいろな喜びを私たちに与えてくれます。これにもう一つ、陶芸には「残す楽しみ」もあると思います。それは運動会の写真の思い出のようなものです。陶芸に興味のある人がもっと増えているいろいろな楽しみ方を味わってもらえることが、陶芸に従事する私たちの願いでもあると思います。

# ユーザーさんの個展情報

## 森本 拓 陶展



定番の器から2009年製(新)オブジェまで展示中



### ～お知らせ～

ワークショップ開催予定。  
「プロが教えます！コーヒー  
カップとソーサー作り&美味  
しいコーヒーの淹れ方講座」  
詳細・お申込みは会期中に  
ギャラリーにて受け付けます。

作家来館日：7/7・10・11・12・15・17・18・19・etc

タカシサイトウギャラリー

牛久市南1-3-13 029-872-8951



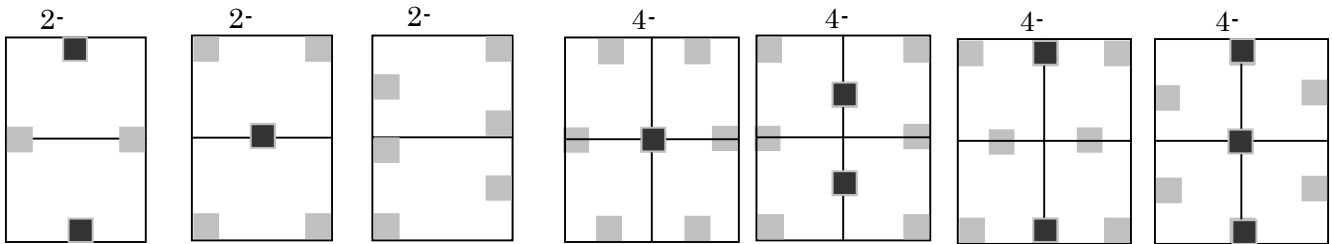
後藤みちこ・田中美枝子 二人展  
(野の花をあしらった白い器、花入れ等 約150点)  
2009年7月1日(水)～15日(水)  
10:00～17:30(最終日15:00迄)  
ギャラリーびんろう(陶芸広場店)  
0285-72-3223



柳橋 進・柳橋修二 作陶展  
2009年6月23日(火)～29日(月) 最終日  
は午後4時まで  
さくら野仙台店 7階 さくら野画廊  
022-261-6111

## 陶芸羅針盤 ツク足の位置

ガス窯や灯油窯の炉床に棚板をおく場合、一般的に一枚あたり3箇所につきを立てます。では炉床のどこに立てるのが窯を傷めずに焼くことができるか考えてみます。まず簡単に窯の構造を説明します。窯の炉床下には煙道(えんどう)というトンネル状の空洞が通っています。この上に重いものが乗ると傷む原因になりますので、この煙道の上を避けるようにしてツクを置けばよいわけです。次にどうしても煙道上にきてしまう場合はできるだけレンガの厚いところを選んでください。炉床に引き穴があり、そこにツクがきてしまう場合は、棚板を煙突側にずらしたツク配置にすると温度バランスが良くなります。ツクの置き方は棚板一枚当たり3箇所でも4箇所でもOKですが、4箇所だと割れやすくなるので、道具土などでガタツキを整える必要があります。ツクが増えると作品スペースも減ります。ご使用の窯にあった最良のツク位置をお選びください。(：炉床に開いた穴。ここを熱が通り煙道 煙突へと抜けてゆきます。)



【2枚敷き棚板のパターン】  
2- では煙道上にツクがない

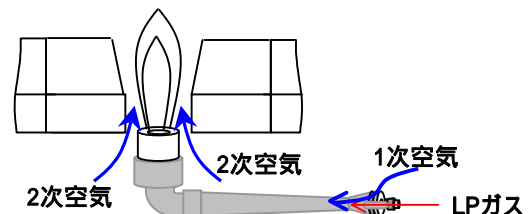
【4枚敷き棚板のパターン】

## なるほど！釉陶里炉・学習帳 煙突の役割

### 【煙突は空気供給設備】

一般的に「煙突」といった場合、窯やストーブから排気する設備と考えがちです。例えばストーブでは、燃料を燃やしてできた二酸化炭素や煙を屋外に放出し、熱だけを利用します。同じようにガス窯でも煙突は二酸化炭素などを放出する役目もありますが、ガス窯は熱を閉じ込めてやきものを焼く設備ですから、熱エネルギーはできるだけ外に出さないようにして、効率よく燃焼させないと1200℃以上の高温を得ることができません。煙突はそのための酸素供給設備です。LPガスが完全燃焼するためには、一定量の空気が必要です。ガスの供給が多すぎても窯の温度は上がりません。それとは逆に、空気の量が多くなると温度は上がりにくくなってしまいます。具体的には、ダンパーで煙突の開度を広くすると、燃焼に必要な空気の供給量を増やすことができます。では、その空気はどこから入ってくるかというと、バーナーとバーナー火口上部の隙間から、言い換えると、バーナーの1次空気と2次空気です。(次回は「窯焚きに必要な空気の量」について)

### 【LPガスが燃える仕組み】



燃焼に必要な空気には、1次空気、2次空気があります。1次空気はエア調整弁を使って機械的に制御することができます。2次空気は、窯のダンパーとドラフトで操作します。ダンパーは機械的に、ドラフトは煙突に流入する空気との温度差を利用して制御します。

## 編集後記「あとかんげん」

毎年6月8日ごろ梅雨入りだそうですが、始まりは「入り」なのに何故かその終わりは「明け」で、「出」と言わないことに疑問を感じるのは私だけでしょうか。梅雨になると作品の乾きが悪くて素焼までに時間がかかる、と感じる陶芸家も多いかと思えます。さて、その梅雨。太平洋高気圧とオホーツク海高気圧がちょうど日本列島の真上あたりでぶつかって梅雨前線が発生し雨が降るといふものです。太平洋高気圧は暖かくて軽い、オホーツク海高気圧は冷たいので重い、そこに上昇気流が発生して雲ができて雨が降ります。ところで、ガス窯で還元をかけるとき、ドラフトを開けて行います。さすがに窯では雨は降らないものの(似たようなことは起きています)、ドラフトを開けるとそこから冷たくて重い空気が進入し、煙突からの排気が抑えられます。排気が少なくなるということは、バーナーからの空気の入りが悪くなることです。つまり炎が酸欠状態になるので、窯は還元雰囲気、ということです。閑話休題。梅雨と名のつく気象現象には、菜種(なたね)梅雨、走り梅雨、梅雨晴れ、蝦夷梅雨、空梅雨、暴れ梅雨、梅雨の戻り、山茶花(さざんか)梅雨、すすき梅雨があります。梅雨の季節は茶筆筥のやきものもカビが生えがち。きれいに洗って風を通してあげるのも良いと思います。